NIE実践報告

1．タイトル：☆見つめよう！広げよう！身の回りにある情報~　新聞切り抜き作品づくりを通して~

2．学校名

愛知県知多郡南知多町立内海小学校

3．実践者名（代表者名）

西久保　拓人

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　43人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞切り抜き作品づくり

7．目標(狙い)

新聞切り抜き作品の製作を通して、新聞に親しみ、自分なりのテーマをもって新聞を読もうとする児童の育成

8．評価の視点

・自分のテーマにあった新聞記事を意欲的に探すことができたか。
・新聞記事から自分の伝えたいことを1枚の模造紙にまとめることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

見つめよう！私たちの身近にある情報・新聞「新聞の切り抜き作品づくり」
総合的な学習の時間・通年105時間中の18時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（全18時間扱い）
①夏休みまでに集めた新聞記事の中から、作品づくりのテーマを考える（5時間）
　・切り取った新聞記事を大きなまとまりに分け、自分が最も伝えたい内容を考える。
　・仮のテーマを決める（自分の言葉で）
②作品のレイアウトを考える（4時間）
　・レイアウトの下書きを描く。
　・模造紙に記事を配置して、全体のレイアウトを確認する。
　・色分けや重ね貼りなど、効果的なレイアウトを考える。
③作品を制作する（7時間）
　・記事を貼り付け、記事についての感想を書く。
　・縁取りや色の効果を考えて、作品を完成させる。
④作品を発表・鑑賞する（2時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

1学期は、新聞を読むこと自体に苦労する児童が多かった。作品のテーマを決めるようになってからはテーマに沿って新聞を読むようになった。学年掲示板に六社の新聞の一面を掲示したことで、新聞各社の傾向やレイアウトの効果に気づき、毎日の出来事に対して、アンテナを高くする姿勢を身につけることができた。

12．成果と課題

新聞を初めて毎日読むようになった児童がほとんどであった。新聞から知った新しい情報で会話する児童が増えた。テレビとは違って、事件の背景や原因、疑問などを詳しく読み取り、話し合う場面も見られた。
その時々に記事を切り取るだけでは、記事の内容にまとまりが無く、作品テーマを考えられない児童もいた。1学期の間に作品のテーマを決め、記事を集めさせるべきだった。また、作品のレイアウトを考える時点で、テーマにあった記事の量が足りなかったり、記事の量のバランスが悪かったりと、児童なりに気づく点がたくさんあったので、レイアウトについて指導する授業をなるべく早めに行うとよかった。